

全新原版EJU系列应试必备丛书

日本留学考试 全攻略

考前对策问题集

〔日〕爱知国际学院 编

读解

➤国内首家引进EJU

➤日本留学考试必备

➤全新原版仿真考题

天津出版传媒集团



天津科技翻译出版有限公司

全新原版 EJU 系列应试必备丛书

日本留学考试全攻略

考前对策问题集

< 读解 >

〔日〕爱知国际学院 编

天津出版传媒集团

天津科技翻译出版有限公司

著作权合同登记号:图字 02-2014-251

图书在版编目(CIP)数据

日本留学考试全攻略:考前对策问题集.读解/日本爱知国际学院编.
天津:天津科技翻译出版有限公司,2014.9

(全新原版 EJU 系列应试必备丛书)

ISBN 978-7-5433-3417-5

I. ①日… II. ①日… III. ①日语—阅读教学—高等学校—入学考试—日本—自学参考资料 IV. ①H369.6

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 155265 号

授权单位:大新书局

出 版:天津科技翻译出版有限公司

出 版 人:刘 庆

地 址:天津市南开区白堤路 244 号

邮政编码:300192

电 话:(022)87894896

传 真:(022)87895650

网 址:www.tsttpc.com

印 刷:天津泰宇印务有限公司

发 行:全国新华书店

版本记录:787×1092 16 开本 14.5 印张 260 千字

2014 年 9 月第 1 版 2014 年 9 月第 1 次印刷

定价:38.00 元

(如发现印装问题,可与出版社调换)

出版にあたって

2002 年、日本の大学に進学しようとする留学生のために、日本留学試験が実施されました。以来、年 2 回の試験は回を重ねて定着し、日本語を学習する留学生の大きな目標になってきました。そして、2010 年には日本留学試験の大幅な改定が行われました。

特に、日本語・読解問題では、複問（1つの文章に対して、設問が 2～4 問ある問題）が新たに取り入れられ問題数も増えました。現場の教師たちからは、この変更に対応した教材が必要だとの声があがりました。

新しく日本留学試験が実施された際、私どもの学院は日本留学試験対応の問題集 EJU シリーズを編集し、多くの学校の先生方に利用していただきました。本書は、愛知国際学院が 2006 年に出版した『日本留学試験対応 講義を受けるための思考力を養う 日本語 読解トレーニング』の改訂版です。

今回の日本留学試験の改定で読解問題に複問が採用されたことを受け、前回出版分の問題の見直し、複問の追加を行うことに決め、現行の日本留学試験の形式に沿ったものに変更しました。単問・複問の練習問題のあと、模擬試験としてもお使いいただけるように、第 1 回と第 2 回に分けて構成してあります。

本書は、日本留学試験の変更に対応できる教材であると自負しておりますので、ぜひ多くの学習者の方や他の学校の先生方に使っていただきご批判やご意見をいただきたいと考えております。

最後に「日本留学試験対応 EJU シリーズ」の企画・編集に携わっていただいた先生方、また快く出版を引き受けてくださった大新書局(中国台湾)、時事日本語社(韓国)、天津科技翻訳出版有限公司(中国)に心より感謝いたします。

2013 年 春

愛知国際学院

庄 昌憲

この本の使い方

私たち、日本留学試験研究会は「日本の大学等で必要となる言語活動に、日本語で参加できる能力」とは何かを問い続けながら問題を作成してきました。練習問題の他にも関連語彙や、大学生が知っていなければならないような表現も多く盛り込みましたので、各問題を解くことによって段階的に「講義を受けるための思考力」が身につけられるようになっていきます。

＜この本の構成＞

単問		複問	
1 ページ目	① 問題	1 ページ目	① 問題
2 ページ目	② 答えを選んだあとで …練習問題	2 ページ目	
3 ページ目	③ 練習問題の解答	3 ページ目	② 答えを選んだあとで …練習問題 関連語彙
4 ページ目	④ 関連語彙 表現・例文 応用語彙	4 ページ目	
		5 ページ目	③ 練習問題の解答 ④ 表現・例文 応用語彙
		6 ページ目	

＜キーワードの確認＞

問題の中に出てきたことばの中から、重要なことばが選んでありますので、効果的にことばの数を増やすことができます。ここでは母語に頼るのではなく、やさしい日本語で意味を確認することができます。

この練習は、知っている日本語を使って語彙を更に豊かにする力を高めますので、大学に入ってから学習にも役立ちます。

＜はやく読もう 要約しながら読もう＞

読解問題では、正確に、短い時間で読み取る力が要求されます。ここでは、すばやく正確に読み取るために、文の内容をまとめる練習をします。

<質問に答えてまとめよう>

自分で文章を作って答えることで、語彙力だけでなく文を作る力も伸ばすことができます。

<内容を確認しよう>

問題文の内容とあっているかどうかを○×で確認し、文章を正確に読み取る力を更に高めます。

<関連語彙>

問題文の中に出てきた言葉と、それに関連のある語彙が取り上げてあります。数があまり多くならないように重要な言葉が選んでありますので、すべて覚えるつもりで取り組みましょう。

この問題集では、大学生活を送るために必要な能力をつけることを目標に日本留学試験の難易度よりも難しいと思われる言葉も、取り上げてあります。

<表現・例文>

上級で必要となる文型だけでなく、文章の型なども取り上げてあります。話し言葉はそれに対応する書き言葉とともに挙げられていますので、文体の差にも気をつけて学ぶことができます。

<応用語彙>

表現として、ひとまとまりで覚えておくといよいものが挙げられています。

語彙表

巻末には、語彙の一覧がキーワード、関連語彙、表現・例文、応用語彙ともに載っています。一度勉強した語彙を検索するときなどに使えます。

日本留学試験 実施要項

1. 目的

外国人留学生として、我が国の大学（学部）等に入学を希望する者について、日本語力及び基礎学力の評価を行う。

2. 実施者

独立行政法人日本学生支援機構が、文部科学省、外務省、大学及び国内外の関係機関の協力を得て実施する。

3. 試験の方法、内容等

(1) 対 象：外国人留学生として、我が国の大学等に入学を希望する者

(2) 試験日：年2回 第1回 6月 第2回 11月

(3) 実施地：国 内 北海道，宮城県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県，石川県又は福井県，静岡県，愛知県，京都府又は滋賀県，大阪府，兵庫県，岡山県又は広島県，福岡県及び沖縄県

国 外 インド（ニューデリー），インドネシア（ジャカルタ及びスラバヤ），韓国（ソウル及びプサン），シンガポール，スリランカ（コロンボ），タイ（バンコク），中国台湾，フィリピン（マニラ），ベトナム（ハノイ及びホーチミン），中国香港，マレーシア（クアラルンプール），ミャンマー（ヤンゴン），モンゴル（ウランバートル）及びロシア（ウラジオストク）

(4) 出題科目等

受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、以下の科目の中から選択して受験する。

科 目	目 的	時 間	得点範囲
日 本 語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する。	125 分	読解 聴解・聴読解 0～400 点
			記述 0～50 点
理 科	日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科（物理・化学・生物）の基礎的な学力を測定する。	80 分	0～200 点
総合科目	日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力、特に思考力、論理的能力を測定する。	80 分	0～200 点
数 学	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80 分	0～200 点

[備 考]

- ① 日本語の科目は、記述、読解、聴解・聴読解の3領域から構成される。
- ② 理科について、受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、物理・化学・生物から2科目を選択する。
- ③ 数学について、受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用のコース1、数学を高度に必要とする学部用のコース2のどちらかを選択する。
- ④ 理科と総合科目を同時に選択することはできない。
- ⑤ 上記の得点範囲は、日本語の科目の記述を除き、素点ではなく、共通の尺度上で表示する。また、記述については基準に基づき採点する。
- ⑥ 出題範囲は、各科目のシラバスを参照のこと。

(5) 出題言語：日本語及び英語により出題するので、受験者は、受験希望の大学等の指定を踏まえて、出願の際にどちらかを申告する（日本語の科目は日本語による出題のみ）。

(6) 解答方式：多肢選択方式（マークシート）（日本語の科目は記述式を含む。）

4. 出願の手続き等

(1) 出願手続き

① 願 書：所定のもの

② 受験料：国内 (1科目のみの受験者) 5,960 円(税込み)
(2科目以上の受験者) 11,920 円(税込み)

国外	インド	500 ルピー
	インドネシア	50,000 ルピア
	韓国 (1科目のみの受験者)	40,000 ウォン
	(2科目以上の受験者)	65,000 ウォン
	シンガポール	36 シンガポールドル
	スリランカ	700 スリランカルピー
	タイ	300 バーツ
	中国台湾 (1科目のみの受験者)	1,200 台湾ドル
	(2科目以上の受験者)	1,600 台湾ドル
	フィリピン	250 ペソ
	ベトナム	100,000 ドン
	中国香港 (1科目のみの受験者)	350 香港ドル
	(2科目以上の受験者)	600 香港ドル
	マレーシア	60 リンギット
	ミャンマー	15 FEC
	モンゴル	10,000 トウグルグ
	ロシア	300 ルーブル

③ 出 願：国内 独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部留学試験課に提出する。

国外 各国・地域の現地機関に提出する。

(2) 受験案内

出願手続き等の細目については、「日本留学試験受験案内」により公表する。

販売の方法：国内 2月下旬から1部510円(消費税含む)で全国の主要書店において販売予定。

国外 各国・地域の現地機関と調整のうえ、決定する。

(3) 受験票の送付

国 内： 願書を受理したものについて、次に掲げる期日に発送する。

第1回 5月下旬 第2回 10月下旬

国 外： 各国・地域の現地機関と調整のうえ、決定する。

[備考] 受験票、結果の通知の発送料については、受験案内等で公表する。

5. 結果の通知等

(1) 受験者への通知

次に掲げる期日（予定）に、試験の成績を通知する。

第1回 7月下旬 第2回 12月下旬

(2) 大学等への通知

第1回については7月下旬から、第2回については12月下旬から、大学等からの成績照会への対応を開始する。

照会先：独立行政法人日本学生支援機構
留学生事業部留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

電話 03-6407-7457

FAX 03-6407-7462

E-Mail eju@jasso.go.jp

独立行政法人日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp/>

日本語シラバス

I. 試験の目的

この試験は、日本の高等教育機関（特に大学学部）に、外国人留学生として入学を希望する者が、大学等での勉学・生活において必要となる言語活動に、日本語を用いて参加していくための能力をどの程度身につけているか、測定することを目的とする。

II. 試験の構成

この試験は、理解に関わる能力を問う領域（読解、聴解、聴読解）と、産出に関わる能力を問う領域（記述）からなる。

III. 各領域の概要

1. 読解、聴解、聴読解領域

読解は、主として文章によって出題されるが、文章以外の視覚情報（図表や箇条書きなど）が提示されることもある。聴解は、すべて音声によって出題され、聴読解は、音声と視覚情報（図表や文字情報）によって出題される。

（1）問われる能力

読解、聴解、聴読解領域では、文章や談話音声などによる情報を理解し、それらの情報の関係を把握し、また理解した情報を活用して論理的に妥当な解釈を導く能力が問われる。具体的には以下のような能力が問われる。

① 直接的理解能力：

言語として明確に表現されていることを、そのまま理解することができるかを問う。たとえば、次のようなことが問われる。

- 個々の文・発話内で表現されている内容を、正確に理解することができるか
- 文章・談話全体の主題・主旨を、的確にとらえることができるか

② 関係理解能力：

文章や談話で表現されている情報の関係を理解することができるかを問う。たとえば、次のようなことが問われる。

- 文章・談話に含まれる情報のなかで、重要な部分、そうでない部分を見分けることができるか

- 文章・談話に含まれる情報がどういう関係にあるかを理解することができるか
- 異なる形式・媒体（音声，文字，図表など）で表現されている情報を比較・対照することができるか

③ 情報活用能力：

理解した情報を活用して論理的に妥当な解釈が導けるかを問う。たとえば，次のようなことが問われる。

- 文章・談話の内容を踏まえ，その結果や帰結などを導き出すことができるか
- 文章・談話で提示された具体的事例を一般化することができるか
- 文章・談話で提示された一般論を具体的事例に当てはめることができるか
- 異なる形式・媒体（音声，文字，図表など）で表現された情報同士を相補的に組み合わせて妥当な解釈が導けるか

（２）出題される文章や談話の種類

（１）で挙げられた能力は，大学等での勉学・生活の場において理解が必要となる文章や談話を題材として問われる。具体的には以下のような文章・談話である。

読解

- 説明文
- 論説文
- （大学等での勉学・生活にかかわる）実務的・実用的な文書／文章 など

聴解，聴読解

- 講義，講演
- 演習や調査活動に関わる発表，質疑応答および意見交換
- 学習上または生活上の相談ならびに指導，助言
- 実務的・実用的な談話 など

２．記述領域

（１）問われる能力

記述領域では，「与えられた課題の指示に従い，自分自身の考えを，根拠を挙げて筋道立てて書く」ための能力が問われる。具体的には以下のようなことが問われる。

- 与えられた課題の内容を正確に理解し，その内容にのっとった主張・結論を提示することができるか

- 主張・結論を支えるための、適切かつ効果的な根拠や実例等を提示することができるか
- 主張・結論を導き出すに当たって、一つの視点からだけでなく、多角的な視点から考察をおこなうことができるか
- 主張・結論とそれを支える根拠や実例等を、適切かつ効果的に、また全体としてバランスのとれた構成をなすように配列することができるか
- 高等教育の場において、文章として論述をおこなう際にふさわしい構文・語彙・表現等を、適切かつ効果的に使用できるか

(2) 出題される課題

- 提示された一つまたは複数の考え方について、自分の意見を論じる
- ある問題について現状を説明し、将来の予想や解決方法について論じる 等

独立行政法人日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp/>

目次

出版にあたって	i
この本の使い方	ii
日本留学試験 実施要項	iv
日本語シラバス	viii

練習問題

練習問題 1	2
練習問題 2	6
練習問題 3	12
練習問題 4	18
練習問題 5	24

第一回

問題 1	32
問題 2	36
問題 3	40
問題 4	44
問題 5	48
問題 6	52
問題 7	56
問題 8	60
問題 9	64
問題 10	68
問題 11	72
問題 12	78
問題 13	84
問題 14	90
問題 15	96
問題 16	102
問題 17	108

目 次

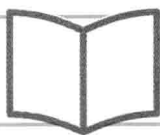
第二回

問題 1	116
問題 2	120
問題 3	124
問題 4	128
問題 5	132
問題 6	136
問題 7	140
問題 8	144
問題 9	148
問題 10	152
問題 11	156
問題 12	162
問題 13	168
問題 14	174
問題 15	180
問題 16	186
問題 17	192
解答用紙.....	199
参考引用資料一覧.....	201
語彙表.....	205
正解表.....	215

練習問題



練習問題 1



問い

次の文章の内容と合っているものはどれですか。

私たちは普段、特別意識することなくものを見ていますが、この「ものが見える」というのはどういうことなのでしょう。

私たちの生活は、昼間は太陽の光で、夜は電気の光で明るく照らされていますが、これらの光がなければ、人間はものを見ることができません。

物体に当たった光は、物体に吸収されたり、物体を透過したり、反射したりします。そして、反射した光のうち可視光と呼ばれる光だけが、私たちの目の中にある網膜の感覚細胞を刺激し、その刺激が脳の視神経に伝わることで物体が「見える」ということになります。

実は、光には可視光以外の光もあり、物体に当たってもいますし、反射もしています。例えば、赤外線や紫外線などがそれです。しかし、それらの光は人間の感覚細胞、視神経を刺激しないため、私たちには「見えない」ということになるのです。

(志村史夫『文科系のための科学・技術入門』ちくま新書を参考に作成)

1. 赤外線や紫外線は可視光の中に含まれる。
2. 人間の感覚細胞と脳の視神経を刺激する光は可視光である。
3. 太陽や電気の光で照らされなくても、人間はものを見ることができる。
4. 物体に当たった光のうち、物体に反射したものを可視光という。